

Sustainable Report No.157

# 地球温暖化による 動植物の生態の変化

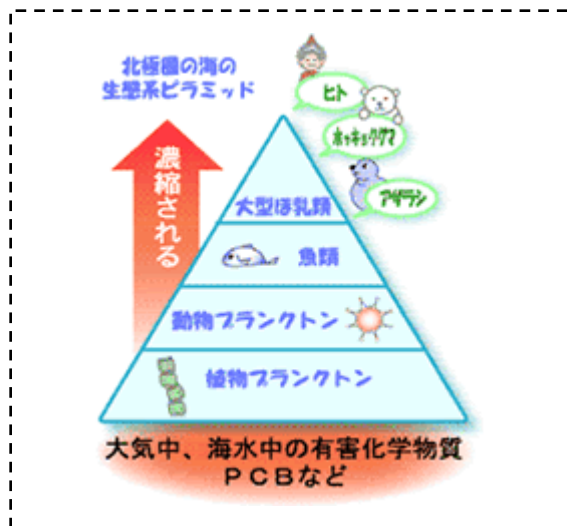


**Satisfactory**

## ■ 助けを求めるホッキョクグマ

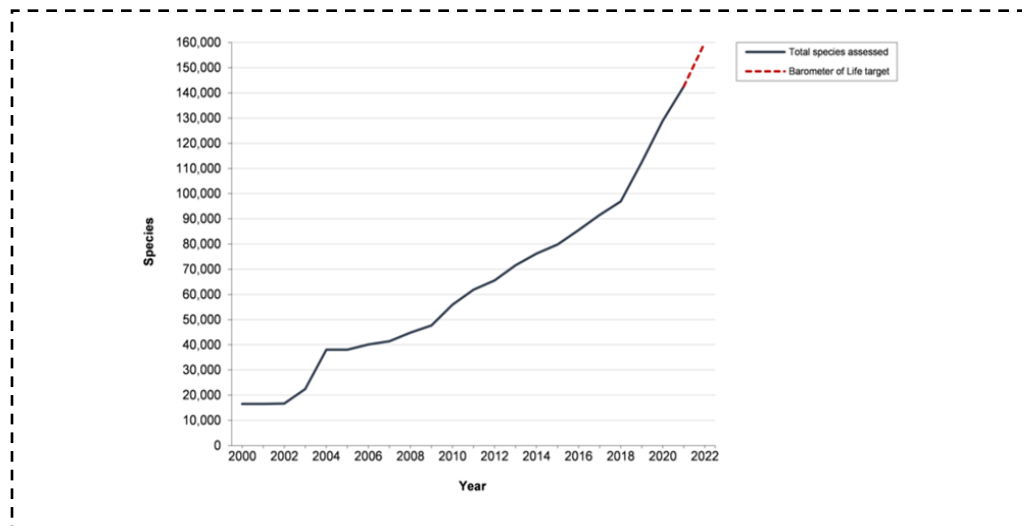
- ホッキョクグマをはじめ絶滅危惧種は年々増え続け2000年時点で15種、**2020年で4000種を超えた**
- 地球温暖化による気候変動や異常気象（大雨・台風・干ばつ）などに加えて、**北極圏の高濃度環境汚染物質**なども絶滅危惧種の増加に関係している
- 農作物の75%は花粉媒介生物に頼っているため、動植物の減少は将来的な**食糧不足につながる**

## ■ 北極圏の海の生態系ピラミッド



出典：WWF

## ■ 絶滅危惧種数の推移



出典：IUCN

## 絶滅危惧種を守るということは

### ■ どうする？ 環境汚染

- WWFは1961年にスイスで設立された環境保全団体で、世界で7000人のスタッフが従事し**サステイナブルな社会の実現**をめざしている
- ホッキョクグマやトナカイ（カリブー）など、食べ物や繁殖地の不足などの継続的な**生態調査や、環境汚染の調査**を行い、結果を国連会議などで発表し有害化学物質の排出削減や使用規制を行っている
- 問題解決にむけて国際的な取り組みが欠かせないため、調査だけで終わらずさまざまな企業にも参加を呼びかけ、行動を変えるところまで追う必要がある

### ■ ホッキョクグマの調査



出典：WWF

### ■ 国連会議の様子



出典：WWF

## 温暖化抑制に必要なことは？

## ■ 世界の環境保全団体の役割

- CO2の排出や海洋汚染が進行し、温暖化を抑制する企業の実践が追いついていないのではないか
- **二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す取り組みが増える**ことで、動物の絶滅が減ることが理想
- 低酸素燃料や再生エネルギーへ転換の推進など具体的な施策を進めるために、世界の環境保全団体が各企業に対して講演会を開催し絶滅危惧種の調査結果の発表するなど、**取り組みの動機となる機会を増やす**

## ■ 環境への関心を高めるワークショップ



出典：WWF

## ■ レッドリストに記載された絶滅のおそれの高い種

| 分類     | 絶滅危機種   |          |        | 合計     |        |
|--------|---------|----------|--------|--------|--------|
|        | CR：近絶滅種 | EN：絶滅危惧種 | VU：危急種 |        |        |
| 動物     | 哺乳類     | 232      | 549    | 526    | 1,337  |
|        | 鳥類      | 231      | 423    | 786    | 1,409  |
|        | 爬虫類     | 433      | 787    | 465    | 1,845  |
|        | 両生類     | 681      | 1,103  | 679    | 2,515  |
|        | 魚類      | 800      | 1,215  | 1,242  | 3,548  |
|        | 無脊椎     | 1,420    | 1,919  | 2,404  | 6,066  |
|        | 動物合計    |          |        |        | 16,720 |
| 植物     | 5,232   | 9,996    | 5,660  | 24,449 |        |
| 菌類・その他 | 36      | 102      | 21     | 290    |        |
| 合計     | 9,065   | 16,094   | 11,783 | 41,459 |        |

出典：IUCN IUCN

## 企業のCO2排出削減施策と動物保護を結び付ける

## ■ 参照・引用資料

- 農研機構,「(研究成果) 農地で花粉を運ぶ昆虫を簡単に調査」,2022年3月28日 (URL : [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/niaes/152077.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/152077.html))
- WWF,「ホッキョクグマの生態と、迫る危機」,2009年9月14日 (URL : <https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3565.html>)
- IUCN,「生命のバロメータ」,2022年9月28日参照 (URL : <https://www.iucnredlist.org/ja/about/barometer-of-life>)
- WWF「ホッキョクグマ 残りおよそ26000頭。」2022年9月28日参照 (URL : <https://www.wwf.or.jp/campaign/specialp/polarbear/>)
- 発信者,「地球環境を守る活動」,2022年10月7日参照 (URL : <https://www.wwf.or.jp/aboutwwf/earth/enetwork/>)
- 発信者,「絶滅の危機に瀕している世界の野生生物ノリスト「レッドリスト」について」,2022年9月28日 (URL : <https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3559.html>)

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先 : info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『[KIZUNA ESD](#)』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### —— サステナブルレポートとは？ ——

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で  
毎週更新中